

令和5年度 第1回九州森林管理局保護林管理委員会議事概要

- 1 日時 令和5年7月25日（火）8:30～17:00
26日（水）8:30～10:30

- 2 場所 ホテルサン人吉、白髪岳生物群集保護林

3 議事

- (1) 令和4年度第2回保護林管理委員会等における意見概要と対応について
- (2) 令和5年度のスケジュールについて
- (3) 重点的対策実施17保護林に関する対策予定について
- (4) 令和4年度保護林モニタリング調査実施保護林に係る管理方針書について
- (5) 令和5年度保護林モニタリング調査について
- (6) その他

4 議事の概要及び主な意見

- (1) 令和4年度第2回保護林管理委員会等における意見概要と対応について
 - ・ 近年、宮崎県南部ではニホンジカの生息分布拡大が確認されており、猪八重照葉樹林生物群集保護林と尾根を隔てた東側の地域でもニホンジカが増えつつあり、捕獲などの対応が必要。
- (2) 重点的対策実施17保護林に関する対策予定について
 - ・ シカ被害・対策にかかる国有林（保護林）の位置づけについて、まずはハンターマップで用いられる5kmメッシュ単位のエリアごとにシカの生息密度と捕獲頭数の関係を分析した上で方針を出していくべき。
 - ・ 保護林は標高が高い場所にあり柵による保護だけでは難しい面もあるので捕獲も効率的に行うことが重要。
- (3) 令和4年度保護林モニタリング調査実施保護林にかかる管理方針書について
 - ・ 猪八重照葉樹林生物群集保護林について、着生植物等にかかる記載について適切な表現にすべき。
 - ・ 猪八重照葉樹林生物群集保護林と接しているエリアでのレクリエーション利用について、保護林への影響が及ぶことのないように注意が必要であり、保護・管理及び利用に関する事項にも明記すべき。
 - ・ 猪八重照葉樹林生物群集保護林のようにシカの侵入が危惧される保護林については、カメラを

設置して監視を行うこと。

- ・ ヒノタニシダ希少個体群保護林について、保護対象種がシカの採食による影響を受けて個体数が減少している可能性が示唆された場合は、植生保護柵を早急に設置することが必要。
- ・ ヒノタニシダやサツマシダはシカとの因果関係がはっきりしていないため、さらに情報収集が必要。

などの意見があり、意見を踏まえ修正案を委員長に一任することとして、承認された。

5 現地検討会について

今回の保護林管理委員会開催に合わせ、白髪岳生物群集保護林において現地検討を実施した。本保護林ではニホンジカの採食や踏圧等による植生への影響が非常に大きく、山頂周辺や尾根部を中心として植生が喪失した箇所が長期に見られ、雨水による侵食が発生しやすい状態になっている。

これまで本保護林では、シカ被害により植生の衰退が進んでいる高標高地のブナ帯尾根部の箇所に、食害防止と植生回復を目的として、232 プロットの植生保護柵を設置してきた。今回の現地検討では、これまでの植生保護柵の現状を説明するとともに、今年度以降、アカガシ等が生育する白髪岳天然林の低～中標高地を対象に、植生保護柵を新規で設置する予定の箇所を確認し、下記の様な意見を得た。

- ・ 植生保護柵については、既存・新設ともに計画的な補修が必要
- ・ これまでの植生保護柵設置による効果を踏まえ、今後の対策に繋げるべき。

これらについては、状況把握を定期的に行い、必要な対応に取り組んでいく。



現地検討会の様子（令和5年7月25日）



保護林管理委員会会議の様子（令和5年7月26日）

《配布資料》

【議事次第・出席者名簿】

【資料 1】 令和 4 年度第 2 回保護林管理委員会等における意見概要と対応について

【資料 2】 令和 5 年度のスケジュールについて

【資料 3】 重点的対策実施 17 保護林に関する対策予定について

【資料 4-1】 令和 4 年度保護林モニタリング調査実施保護林に係る管理方針書について

【資料 4-2】 令和 4 年度保護林モニタリング調査実施保護林に係る管理方針書における植物相及び
動物相

【資料 5-1】 令和 5 年度保護林モニタリング調査について

【資料 5-2】 保護林モニタリング簡易調査の実施及び進捗について

【資料 6】 白髪岳生物群集保護林現地検討会資料 概要版

【参考資料 1】 九州森林管理局保護林管理委員会運営要領

【参考資料 2】 令和 4 年度保護林モニタリング調査実施保護林に係る（現行）管理方針書について

【参考資料 3】 令和 5 年度保護林モニタリング簡易調査チェックシート（実施済み）

【参考資料 4】 令和元年度第 2 回保護林現地視察報告書

令和5年度 第1回九州森林管理局保護林管理委員会 出席者名簿

| | 氏名 | 所属・役職 | |
|---------|--------|--|---|
| 委員 | 岩本 俊孝 | 宮崎大学 名誉教授 | |
| | 河野 耕三 | 綾町 BR (ユネスコエコパーク) 推進支援員 「綾町イオンの森」アドバイザー 南九州大学非常勤講師 | |
| | 久保田 正裕 | 国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター 九州育種場 育種課長 | |
| | 鈴木 英治 | 鹿児島大学 国際島嶼教育研究センター 特任教授 | |
| | 塔村 真一郎 | 国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 九州支所長 | |
| | 野中 優佳 | 株式会社ゆうき 代表取締役 熊本県林業研究グループ連絡協議会女性部代表 | |
| | 藤掛 一郎 | 宮崎大学農学部 教授 | |
| | 横山 隆一 | 公益財団法人 日本自然保護協会 参与 日本イヌワシ研究会副会長、奥利根自然センター代表 | |
| | 米田 健 | 鹿児島大学 名誉教授 | |
| 九州森林管理局 | 矢野 彰宏 | 局長 | |
| | 池田 秀明 | 計画保全部長 | |
| | 魚住 悠哉 | 計画課長 | |
| | 坂之上 勘太 | 保全課 企画官 (自然再生) | 欠 |
| | 宮木 利浩 | 〃 主査 (野生鳥獣) | |
| | 岡 杏奈 | 計画課 主事 | |
| | 田中 凌太 | 〃 主事 | |
| | 新長 千聖 | 〃 生態系保全係 | |
| 受託者 | 中園 朝子 | 株九州自然環境研究所 所長 | |
| | 城戸 美智子 | 〃 副担当者 | |
| | 永野 春菜 | 〃 主担当者 | |

(委員50音順、敬称略)